

## 競技上の注意・連絡事項

- 1 この大会は2016年度日本陸上競技連盟競技規則、並びに大会規定に基づき実施しますが、参加者の年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行します。
- 2 各団体の監督による受付(7:40~8:10)をチーム受付とします。棄権をする選手がいる場合は受付にて届け出て下さい。その後の選手変更については、第1ゲートの選手招集所に届け出て下さい。
- 3 各団体の監督による打ち合わせ会議を8:30から会議室2-Bで行いますので必ず出席して下さい。
- 4 選手の招集は、トラック競技は競技開始の30分前に開始し20分前に終了。フィールド競技は40分前に開始し30分前に終了しますので、第1ゲートの選手招集所に集合して下さい。競技役員(競技者係)が確認します。(各団体の責任者は、選手に自分の大会用ナンバー、及び組・レーンを理解させておいて下さい。)
- 5 スパイクシューズは使用可です。ただし、9mm以下の全天候型ピンとします。尚、裸足での参加は危険なので認めません。
- 6 スタートについては、短距離種目でもスタンディングスタートを認めます。尚、不正スタートについては、同じ選手が2回不正スタートをした場合、その選手を失格とします。
- 7 セパレートレーンを使用する種目(100m、80mH、4×100mリレー)では、必ずプログラム記載通りにスタートからフィニッシュまで、そのレーンを使用して下さい。他のレーンに入ると失格となることがあります。
- 8 リレーにおいて、助走マーク(10mの補助ゾーン)の使用を認めます。ただしマーカー(テープ)の使用は指定の物1ヶ所のみです。必要団体は受付でも配布します。なお、マーカーはレース終了後、各チームで必ず外して下さい。
- 9 リレーのオーダー用紙は、予選は朝の団体受付時に提出して下さい。尚、決勝は招集開始時刻の1時間前までに招集所に提出して下さい。5人で申し込んでいるリレーに限り、選手の変更が可能です。ただし、1人2種目(リレーを含む)という大会規定を守って下さい。また、同じ団・同じクラブでも、Bチーム登録の選手をAチームに移動するなどということではできません。
- 10 80mHのハードルは、高さ70cm、ハードル数9台、スタートから1台目まで13m、インターバル7m、最終ハードルよりフィニッシュまで11m、すべて男女共通です。
- 11 5年走幅跳の試技は3回です。6年走幅跳は3回試技の後、トップ8を選出し、残り3回の試技を行い順位を決定します。
- 12 走高跳の跳び方は、「はさみ跳び」及び「またぎ越し」とし、必ず足から着地して下さい。足以外からの着地は認めません。なお練習は男女とも100cmで行い、競技は105cmから始めます。120cmまでは5cmきざみでバーを上げ、それ以降は3cmきざみとします。試技をパスする時は、競技役員に申し出て下さい。
- 13 ジャベリックボール投は、やり投のピットで行います。助走の長さは15m以内、試技は3回です。ボールは主催者が用意した物を使用します。
- 14 表彰は、決勝結果のアナウンス後に本部席前で行います。結果のアナウンス終了後、3位までに入賞した選手は直ちに表彰係(本部席横)に集合して下さい。本人が来られない場合は、代理の選手を出して下さい。また、4~8位の選手には賞状がありますので受け取りに来て下さい。
- 15 各団体は、参加選手人数により帯同審判員を出して下さい。(10名~19名は1名、20名~29名は2名、30名以上は3名) プログラムと昼食は準備します。8:40に打ち合わせを行いますので、エントランスホールにご集合ください。
- 16 競技場所及び雨天練習場以外はスパイクシューズの使用は禁止です。厳守して下さい。
- 17 指導者及び保護者の方は、必ずスタンドで応援・指導・写真撮影を行って下さい。
- 18 競技前の練習は雨天練習場が使用できます。また、8:45までは、本競技場での練習を認めます。ハードル練習は10:30~12:30の間、バックストレッチで認めますので役員の指示に従って下さい。尚、正面玄関前での練習は禁止します。
- 19 全国大会種目で優勝した選手と指導者(場合によっては、2位以下の選手)は、全国大会についての打ち合わせを行います。最終種目終了後、会議室2-Bへご集合ください。